

地理情報入力編集システム

**N I G M A S X**

—NEO MAPPING INFORMATION  
SYSTEM FOR COMPUTER MEDIA—

# Release Note

Ver. 8.0 リリースノート

# NIGMASX Ver. 8.0 システム概要

## リリース時期

名称：NIGMASX Ver. 8.0  
時期：平成23年02月10日

## 開発経緯

弊社では、会社設立より蓄積した地図情報処理ノウハウと多くのユーザー様より求められた要望から、問題点の洗い出しを行い新たな機能を付加した地図入力支援システムとしてNIGMASXを開発しました。

NIGMASXは、地図データの初期入力、GISに供給するための構造化データの作成、属性データベースとの連動、成果図出力、さまざまな外部フォーマットデータのインポート・エクスポート機能など、地図データ作成のインプットからアウトプットまで、幅広くサポートする地図入力・編集システムです。

現在、さまざまなフォーマットの地図データが普及し、既存データを利用した編集、加工作業が増えています。今回リリースしました『NIGMASX Ver. 8.0』は、このようなお客様にも手軽に使っていただける商品です。

## Ver 7.0→Ver 8.0 へのバージョンアップ内容

NIGMASX Ver. 8.0より以下機能を作成致しました。  
また、新規コマンドについても多数作成致しました。

### ■ Ver 8.0より対応した他フォーマット

#### ベクタデータ

- ・GPSデータ (GPX)

[主な内容]

- ・GPSデータの読込

- ・基盤地図情報 (数値標高モデル)

[主な内容]

- ・基盤地図情報標高モデルファイルからMSHファイルの作成

- ・KML

[主な内容]

- ・シンボルのKMLファイルへの保存

### ■ 座標付き画像対応 (exif情報)

- ・JPEGファイルに付加されているexif情報を参照した読込に対応しました。  
デジカメや携帯電話で撮影した画像を撮影した位置に読込むことが可能です。

### ■ 座標付きキャプチャー機能

- ・編集画面のPNGファイルと座標ファイル (.PGW) の保存に対応しました。

### ■ 数値標高モデルから陰影のBMPデータ作成

- ・国土地理院が整備した基盤地図情報数値標高モデルファイルからの陰影のBMPデータ作成に対応しました。  
各種解析のベースマップやGISの背景データとして利用可能です。

### ■ 新規コマンド

- ・ワールドファイル (.PGW) を読込むコマンド
- ・世界測地系BL座標のワールドファイルを世界測地系XY座標のラスタヘッダ定義テーブルに変換するコマンド

その他のコマンドにつきましては、後述の資料「NIGMASX 8.0で追加したNIGMASコマンドをご覧下さい。

## システムの特徴

N I G M A S Xの主な機能についてご紹介します。

### ベクタ編集機能

- ・図形編集用基本機能 —移動・コピー・消去・変更・回転・拡大縮小・分割等
- ・隣接処理機能 —複数図面にまたがる図形の入力や接合処理が容易に行えます。
- ・検査・修正機能 —背景ラスタとベクタデータを比較してズレ、モレの検査や端点・重複・入力方向等の論理検査を容易に行えます。  
検査後エラー箇所画面を移動したり、専用画面でエラー箇所の表示も行えますので修正作業も容易に行えます。
- ・ポリゴンの自動生成機能
- ・スムージング機能 —ラインの各点間に分割点を作成し、線データを滑らかにすることができます。
- ・座標系変換 —平面直角座標系と経緯度座標系との相互変換や日本測地系と世界測地系との相互変換が可能です。  
変換はファイル名にワイルドカードの文字（“\*”や“？”）が指定できますので、複数のデータを一括で処理することができます。
- ・注記の入力履歴 —前回入力した文字列を次に文字を入力する際に初期値として利用することができます。地番などの入力で、前回入力した親番を初期値として子番や孫番だけを入力したい時に便利です。
- ・注記のレイアウト機能 —段組注記・線に沿っての入力・間隔やサイズを調整しながらの入力を容易に行えます。
- ・Z値座標値の付与・変更・論理検査機能
- ・陰線処理機能 —注記やシンボルにかかる線を陰線処理することが容易に行えます。
- ・集計機能 —レイヤ・ラインタイプ毎に図形数を集計することができます。またグループ単位でラインの距離やポリゴンの面積を集計し、CSVファイルに出力することができます。
- ・その他の機能 —計測・交点処理・座標調整・直角補正等

### 属性編集機能

- ・属性データベースとの連動機能 —Access97・2000形式のMDBと図形をELにてリンクすることで、データベースの編集を容易に行えます。
- ・ATR属性編集機能 —専用画面でのATR属性入力・編集や検査が容易に行えます。
- ・ATR属性とCSVファイルのインポート・エクスポート機能
- ・ATR属性の文字列検索 —指定した文字列を検索し、検索結果をリスト表示することができます。またリストから選択することで該当位置へ画面を移動することができます。

### 初期入力（データ生成）

- ・ラスタ背景によるマウス指示入力
- ・ラスタ／ベクター一括変換機能
- ・ラスタ自動認識機能 —指示したラスタと同じ形状の箇所をベクタ変換します。
- ・シンボル自動認識
- ・OCR機能（文字認識機能）
- ・閉線ラスタ自動認識機能
- ・等高線自動追跡機能
- ・ポリゴン入力・分割機能
- ・キーコード・エレメントラベル付与
- ・DRAW・レイヤ毎の表示切り替え

### ラスタ編集機能

- ・航空写真・衛星写真の座標評定機能
- ・図郭四隅・多点での座標付与機能
- ・ラスタの回転・移動・切り出し・合成機能
- ・ベクタデータ→ラスタデータ変換機能

### PLOT-NIGMAS（成果図出力機能）

N I G M A S Xによって作成されたデジタル地図データや、インポートされた地図データを成果品レベルの精度をもって出力する機能です。またラスタデータ（2値・多値）とデジタル地図データの重ね合わせ出力も可能となっており、出力する前に出力イメージを確認することも可能です。

また以下機能はN I G M A S X ver1.0より追加されたもので、より多彩な成果図を作成することができます。

- ・ポリゴンの透過機能 —ポリゴンの背景データを透かして出力することができます。
- ・出力イメージの画像出力 —Windows標準ビットマップとしてファイルに出力することができます。これにより出力イメージを文書ファイル等に貼り付けることが可能になります。

### 他フォーマットデータのインポート・エクスポート機能

お手持ちのデータ資産や市販データを有効にご活用頂けますよう、以下のフォーマットデータをN I G M A S Xにインポート及びエクスポートすることができます。

・AutoDesk社AutoCAD図面フォーマット Release14	(*. DXF)	
・国土交通省DM	(*. DM)	
・SIMA 日本測量機器工業会 測量データ共通フォーマット Ver.01	(*. SIM)	
・J S P ・ S I M A—DMフォーマット	(*. DMF)	
・A r c V i e w仕様 シェープファイル	(*. SHP)	
・昭文社デジタルデータ	(*. DAT)	
・国土地理院 数値地図2500 (空間データ基盤)		※1
・国土地理院 数値地図2500 (空間データ基盤)	(*. XML)	※1
・国土地理院 数値地図10000 (総合)	(*. RST)	※1
・国土地理院 数値地図25000 (行政界・海岸線)	(*. MBY)	※1
・国土地理院 数値地図25000 (空間データ基盤)	(*. XML)	※1
・国土地理院 数値地図200000 (行政界・海岸線)	(*. MBY)	※1
・国土地理院 数値地図50m標高メッシュ	(*. MEM)	※1
・国土地理院 数値地図250m標高メッシュ	(*. SEM)	※1
・国土地理院 数値地図1km標高メッシュ	(*. TEM)	※1
・地籍調査成果 (国調フォーマット)	(*. TXT)	※1
・地籍フォーマット2000	(*. HED)	
・M i c r o S t a t i o nデザインファイル	(*. DGN)	※1
・CADデータ交換標準 (SXF)	(*. P21)	
・CADデータ交換標準 (SXF)	(*. SFC)	※1
・拡張DM	(*. DM)	
・S I S E x p o r t D a t a s e t	(*. SED)	※1
・K e y h o l e M a r k u p L a n g u a g e	(*. KML)	※2
・CSVファイル	(*. CSV)	※1
・M a p I n f o I n t e r c h a n g e F o r m a t	(*. MIF)	※1
・PDFファイル	(*. PDF)	※2
・国土数値情報	(*. TXT)	※1
・基盤地図情報	(*. XML)	※1
・GPSデータ	(*. GPX)	※1 (Ver8.0より対応)

※1 読み込みのみ対応しています。 ※2 保存のみ対応しています。

※今後も様々なフォーマットに対応する予定です。

#### 路線価等業務管理システムのインポート・エクスポート・編集機能

財団法人資産評価システム研究センターによる路線価等業務管理システムのデータをインポート及びエクスポートすることができます。インポートしたデータに図形を追加・編集することができます。

#### その他

- ・コマンドプロシジャー —コマンドの組み合わせにより、独自の簡易コマンドを作成することができます。
- ・メニューバー登録機能 —コマプロや汎用コマンドはメニューバーに登録することが可能ですのでユーザー様独自の入力環境を構築することができます。
- ・コマンドボタン登録機能—メニューバーと同様に、コマプロや汎用コマンドはメニューバーに登録することが可能ですのでユーザー様独自の入力環境を構築することができます
- ・UNDO機能 —主な編集コマンドにUNDO機能が使用できます。
- ・表示テーブルの編集 —N I G M A S から表示テーブルを編集する機能を追加しましたので、直接図形の色を変更したりすることができます。

#### 動作環境

##### オペレーティングシステム

最低：Microsoft®Windows® 95、Microsoft®Windows® 98、Microsoft®Windows® ME

推奨：Microsoft®WindowsNT® Version4.0、Microsoft®Windows® 2000、Microsoft®Windows® XP、Microsoft®Windows® Vista、Microsoft®Windows® 7

##### コンピュータ本体

上記オペレーティングシステムに対応したパーソナルコンピュータ

##### CPU

推奨：Intel® PentiumIII®800MHz 以上

##### メモリ

最低128MB\* / 推奨256MB以上

\*ファイルサイズの大きな地図データや画像データを扱う場合は、128MBですとかなりストレスを感じます。

このようなデータを使用する場合は、256MB以上にしてください。

## ハードディスク

標準セットアップ時 300MB程度

# NIGMASX Ver. 8.0 新規リリースコマンド

コマンド名に“\*”の付くコマンドはシリーズコマンド群で、“\*”には任意文字列が入り、類似コマンドが複数あることをあらわします。

## NIGMASX Ver 8.0 で追加したNIGMASコマンド

コマンド名	説明
DEMXMLTOMSH	国土地理院が整備した基盤地図情報(JPGIS)標高モデルファイルからMSHファイルを作成するコマンドを作成しました。
GPXREAD	GPSデータを読み込むコマンドを作成しました。
JREADPOSP	JPEGファイルに付加されているexif情報を参照し、その座標位置にJPEGファイルを読み込むコマンドを作成しました。
KMLWRITES	標準オブジェクトテーブルに指定したシボルをKMLファイルとして保存するコマンドを作成しました。
MSHDIBCOL	陰影のMSHファイルとBMPデータから陰影のBMPデータを作成するコマンドを作成しました。
MSHGRAD	陰影のMSHファイルを作成するコマンドを作成しました。
MSHTORHD	MSHファイルからBMPデータを作成するコマンドを作成しました。
PGWCREATE	編集画面を指定した範囲でPNGファイルに保存するコマンドを作成しました。
PGWREAD	ワールドファイル(PGW)を読み込むコマンドを作成しました。
TFWTORHDF_JGDBLXY	世界測地系BL座標のワールドファイルを世界測地系XY座標のラスター定義テーブルに変換するコマンドを作成しました。

## NIGMASX Ver 7.0 マイナーバージョンアップでリリースしたNIGMASコマンド (弊社ホームページで公開済み)

コマンド名	説明
BMPREVPAL	2値BMPデータを対象に白と黒のハレットを交換するコマンドを作成しました。
CHGLTYPMARK	標準オブジェクトテーブルで指定したライン・ポリゴンを対象に、1グループ内でラインタイプが変化している点の座標をマークファイルに格納するコマンドを作成しました。
DELCROSSLIN	指示した2点間を結ぶ点と交差するラインをグループ単位で消去するコマンドを作成しました。
DEMREADXML	基盤地図情報がダウンロードサービスでダウンロードできる数値標高モデル10mメッシュファイルを読み込むコマンドを作成しました。
DMEXLOGF	指定フォルダ内に格納されているNBFファイルを対象に、DMEX定義テーブルに定義されていない図形要素・レイヤ・ラインタイプ・サブラインタイプで入力されている図形を検査し、結果をログファイルへ出力するコマンドを作成しました。
DMEXLOGT	指定フォルダ内に格納されているNBFファイルを対象に、DMEX定義テーブルに定義されていない図形要素・レイヤ・ラインタイプ・サブラインタイプで入力されている図形を検査し、結果をログファイルへ出力するコマンドを作成しました。
DMEXTBLLOGF	指定フォルダ内に格納されているDMデータファイルを対象に、DMEX定義テーブルに定義されていないデータタイプ・分類コード・図形区分の図形を検査し、結果をログファイルへ出力するコマンドを作成しました。
EXDMKENTEIMARK	日本測量協会測量技術センターの地図成果検定の構造化検査で出力されたCSVファイルを参照し、対象図形の始点または原点座標をマークファイルに格納するコマンドを作成しました。
EXDMLOGF	指定フォルダ内に格納されているNBFファイルを対象に、EXDM定義テーブルに定義されていない図形要素・レイヤ・ラインタイプ・サブラインタイプで入力されている図形を検査し、結果をログファイルへ出力するコマンドを作成しました。
EXDMLOGT	指定フォルダ内に格納されているNBFファイルを対象に、EXDM定義テーブルに定義されていない図形要素・レイヤ・ラインタイプ・サブラインタイプで入力されている図形を検査し、結果をログファイルへ出力するコマンドを作成しました。
EXDMTBLLOGF	指定フォルダ内に格納されている拡張DMデータファイルを対象に、EXDM定義テーブルに定義されていないデータタイプ・分類コード・図形区分の図形を検査し、結果をログファイルへ出力するコマンドを作成しました。
EXDMWRITECHK	図形が拡張DM仕様と一致しているか検査するコマンドを作成しました。
PRINTREVCSR	シボル表示モードをリアルモードに設定した場合、シボルグループシボルの色を反転して印刷するか、通常の色で印刷するかを設定するコマンドを作成しました。
RASEMSAINP	カレントRDRAWのラスターデータに、ディスク上より読み込んだ全てのラスターデータを範囲指定で貼り付けるコマンドを作成しました。

RASEMSINP	カレントRDRAWのラスターに、ディスク上より読み込んだラスターを範囲指定で貼り付けるコマンドを作成しました。
SLOPECOL	標準オブジェクトテーブルで指定したラインを対象に、デジタル点間の勾配によりラインの色を変更するコマンドを作成しました。

#### N I G M A S X V e r 7 . 0 で追加したN I G M A S コマンド

コマンド名	説明
ANNATR	標準オブジェクトテーブルで指定した注記・グループ注記を対象に、文字列を指定ATRフィールド番号へ格納するコマンドを作成しました。
ATRTOFIG	標準オブジェクトテーブルで指定した図形を対象に、テーブルで指定したATRフィールド番号に格納されている値に図形属性を変更するコマンドを作成しました。
KCNVJGD	世界測地系XYで作成されているベクタデータを異なる系番号の座標へ変換するコマンドを作成しました。
KCNVW	日本測地系XYで作成されている図郭座標を異なる系番号の座標へ変換するコマンドを作成しました。
KCNVWJGD	世界測地系XYで作成されている図郭座標を異なる系番号の座標へ変換するコマンドを作成しました。
MACTFWBM4	コマンドTFWBM4にて自動表示したTIFFデータの表示を解除するコマンドを作成しました。
MACTFWBMA	コマンドTFWBMAにて自動表示したTIFFデータの表示を解除するコマンドを作成しました。
P21WRITE1	SXFファイル(P21形式)へ保存するコマンドを作成しました。
PROCPATH	外部プログラム格納フォルダを変更するコマンドを作成しました。
REPLACEANNT	標準オブジェクトテーブルで指定した注記・グループ注記を対象に、文字列を完全一致で置換するコマンドを作成しました。
REPLACEANNTTP	標準オブジェクトテーブルで指定した注記・グループ注記を対象に、文字列を中間一致で置換するコマンドを作成しました。
REPLACEATRTN	標準オブジェクトテーブルで指定した図形を対象に、指定ATRフィールド番号に格納されている文字列を完全一致で置換するコマンドを作成しました。
TFWBM4	4点ベースマップ定義テーブル内で定義されているTFWと関連付いているTIFFデータを自動的に画面表示するコマンドを作成しました。
TFWBMA	ベースマップ定義テーブル内で定義されているTFWと関連付いているTIFFデータを自動的に画面表示するコマンドを作成しました。
TMPGETOBJ	あらかじめ作成した中間ファイルから標準オブジェクトテーブルで指定した図形の中間ファイルを作成するコマンドを作成しました。
VCTMARKONW	標準オブジェクトテーブルで指定した図形を対象に、図郭上に存在する図形の座標をマークファイルへ格納するコマンドを作成しました。

#### N I G M A S X V e r 7 . 0 で削除したN I G M A S コマンド

コマンド名	説明
P21WRITE	NIGMASで入力・編集した図形を保存することができず、新規コマンドP21WRITE1にて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
SFCWRITE	NIGMASで入力・編集した図形を保存することができないため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。

#### N I G M A S X V e r 7 . 0 で削除したN C M コマンド

コマンド名	説明
APPAD4	DXF読み込みコマンドにて作成される注記定義テーブルの内容を全てアペンドすることができず、新規コマンドAPPAD4CMTにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
APPLAY	DXF読み込みコマンドにて作成されるレイアウト定義テーブルの内容を全てアペンドすることができず、新規コマンドAPPLAYCMTにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
APPLD4	DXF読み込みコマンドにて作成されるライン定義テーブルの内容を全てアペンドすることができず、新規コマンドAPPLD4CMTにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
APPSD4	DXF読み込みコマンドにて作成されるシボ定義テーブルの内容を全てアペンドすることができず、新規コマンドAPPSD4CMTにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。

**N I G M A S X Ver 6. 0マイナーバージョンアップでリリースしたN I G M A S コマンド**  
(弊社ホームページで公開済み)

コマンド名	説明
DELSHORTL	1グループ内の近傍点を消去するコマンドを作成しました。
DMKANDANSET	間断区分を付与するコマンドを作成しました。
DMUNLINKLIN	ラインタイプ変化点・陰線フラグ変化点でラインのグループ分割するコマンドを作成しました。
DMUNLINKLING	ラインタイプ変化点・陰線フラグ変化点でラインのグループ分割し、分割したラインには同一のグループ番号を付与するコマンドを作成しました。
GRIDO	ポリゴンまたは面を指示して、ティックは面の内側発生し、座標値注記は面の外側に発生するコマンドを作成しました。
KKJ_MESH	国土数値情報統一フォーマットメッシュデータを読み込むコマンドを作成しました。(テーブル参照版)
KKJ_MESH2	国土数値情報統一フォーマットメッシュデータを読み込むコマンドを作成しました。(テーブル非参照版)
KKJ_POINT	国土数値情報統一フォーマット点データを読み込むコマンドを作成しました。(テーブル参照版)
KKJ_POINT2	国土数値情報統一フォーマット点データを読み込むコマンドを作成しました。(テーブル非参照版)
PANS	スケール指定で中心移動するコマンドを作成しました。
PDFHATCHUSER	PDF出力する際のハッチングタイプが8ドット×8ドットの場合のハッチングの間隔を指定するコマンドを作成しました。
PDFHATCHWIN	PDF出力する際のハッチングタイプがWindows標準の場合の線の間隔を指定するコマンドを作成しました。

**N I G M A S X Ver 6. 0マイナーバージョンアップで追加したNCMコマンド**  
(弊社ホームページで公開済み)

コマンド名	説明
APPAD4CMT	DXFファイル読込時に作成される注記定義テーブル(*.AD4)をイベントするコマンドを作成しました。
APPLAYCMT	DXFファイル読込時に作成されるレイヤ定義テーブル(*.LAY)をイベントするコマンドを作成しました。
APPLD4CMT	DXFファイル読込時に作成されるライン定義テーブル(*.LD4)をイベントするコマンドを作成しました。
APPSD4CMT	DXFファイル読込時に作成されるシンボル定義テーブル(*.SD4)をイベントするコマンドを作成しました。

**N I G M A S X Ver 6. 0で追加したN I G M A S コマンド**

コマンド名	説明
ATRAPPEND	指定ATRフィールド番号の文字列を連結するコマンドを作成しました。
ATRAPPENDK	指定ATRフィールド番号の文字列を区切り文字を挟んで連結するコマンドを作成しました。
ATRCOPYN	標準オブジェクトテーブルで指定した図形の、指定ATRフィールドの値を別ATRフィールドにコピーするコマンドを作成しました。
ATRCOPYOP	標準オブジェクトテーブルで指定した図形を対象に、同一座標値にある図形の指定ATRフィールド番号の値をコピーするコマンドを作成しました。
ATRGANNN	標準オブジェクトテーブルで指定した図形のATRの文字列をグループ注記として発生するコマンドを作成しました。
ATRPUTTBL	テーブルで指定した図形のATRに、テーブルで指定した文字列を格納するコマンドを作成しました。
ATRPUTTBLE	テーブルで指定した図形のうち、ATRがNULLの図形を対象に、テーブルで指定した文字列を格納するコマンドを作成しました。
ATRPUTTBLN	テーブルで指定した図形の指定ATRフィールドに、テーブルで指定した文字列を格納するコマンドを作成しました。
ATRPUTTBLNE	テーブルで指定した図形のうち、指定ATRフィールドがNULLの図形を対象に、テーブルで指定した文字列を格納するコマンドを作成しました。
ATRWRITE1	標準オブジェクトテーブルで指定した図形のATRの内容をCSV形式のテキストファイルへエクスポートするコマンドを作成しました。
CROSMARKOS	ラインの交差部において、交点がなく、且つ交差部から指定距離内に交差しているラインの端点にマークを発生するコマンドを作成しました。
CUR_DISPEN	編集画面の大きさを測地メートル単位で指定変数に格納するコマンドを作成しました。

DELERRARCP	不正な円弧を消去するコマンドを作成しました。
DMGRIDADD	指定した位置から格子状にグリッドデータを発生するコマンドを作成しました。
DMGRIDCHK	標準オブジェクトテーブルで指定したグループシンボルがグリッドデータの仕様と一致しているか検査するコマンドを作成しました。
DMHTBLCREATE	DMデータファイルからDMヘッダ情報定義テーブルを作成するコマンドを作成しました。
DMHTBLUPDATE	DMヘッダ情報定義テーブルを更新するコマンドを作成しました。
ELCPYLCRSL	標準オブジェクトテーブルで指定したラインに、別テーブルで指定したラインが交差していたらELをコピーするコマンドを作成しました。
ELCPYPCRSP	標準オブジェクトテーブルで指定したポリゴンに、別テーブルで指定したポリゴンが重なっていたらELをコピーするコマンドを作成しました。
ELTOATRNUM	標準オブジェクトテーブルで指定した図形を対象に、図形のELの値を指定したATRフィールド番号へコピーするコマンドを作成しました。
EXDMHTBLUPDATE	拡張DMのヘッダ情報定義テーブルを更新するコマンドを作成しました。
EXDMTBLCREATE	拡張DMデータファイルから拡張DMヘッダ情報定義テーブルを作成するコマンドを作成しました。
GLINKAREA	指定領域のグループ図形を対象に、グループ化するコマンドを作成しました。
HIDE1MARK	1グループ内で陰線フラグが変化している座標をマークファイルに格納するコマンドを作成しました。
MAKEDIR	フォルダを作成するコマンドを新規に作成しました。
NIF2ATR	NIF2保存時にATRのリストを出力するかどうかを設定するコマンドを作成しました。
NIF4ATR	NIF4保存時にATRのリストを出力するかどうかを設定するコマンドを作成しました。
PDFWRITE	カレントDRAWのベクタデータをPDFファイルとして保存するコマンドを作成しました。
REPLACEATRT	標準オブジェクトテーブルで指定した図形の、ATR全体に格納されている文字列を置換するコマンドを作成しました。
RHDTOHDR	ラスタヘッダ定義テーブルをカミール3Dで表示することができる画像ヘッダファイル(.HDR)に変換するコマンドを作成しました。
RHDTOHDRS	指定フォルダ内のラスタヘッダ定義テーブルをカミール3Dで表示することができる画像ヘッダファイル(.HDR)に変換するコマンドを作成しました。
RINSCHKLIN	標準オブジェクトテーブルで指定したライン上の図形を対象に、接合がとれていない箇所をマークファイルに格納するコマンドを作成しました。
SAMEPOINTCHKAS	標準オブジェクトテーブルで指定した注記・シンボル・グループ図形の重複を検査するコマンドを作成しました。
SEARCHING	指定した値がどの値の範囲にいるかを検索し、その値番号を指定変数格納するコマンドを作成しました。
SHPTONBFBUNK	シェープファイルを指定した分割数でNBFへ変換するコマンドを作成しました。
TXT_ADD	テキストの最後に指定文字列を追加するコマンドを作成しました。
TXT_APPEND	テキストに指定テキストファイルの内容をアペンドするコマンドを作成しました。
TXT_COUNT	テキストの行数を指定変数に格納するコマンドを作成しました。
TXT_CREATE	テキストを新規作成するコマンドを作成しました。
TXT_GET	テキストの内容を行数指定で指定変数に格納するコマンドを作成しました。
TXT_PUT	テキストの指定行の内容を指定文字列に変更するコマンドを作成しました。
TXT_READ	テキストファイルを読み込むコマンドを作成しました。
TXT_REPLACE	テキストの指定文字列を置換するコマンドを作成しました。
TXT_WRITE	テキストを保存するコマンドを作成しました。
URL	指定URLをブラウザで表示するコマンドを作成しました。
VALBUTTON	指定した変数にオプションボタンにより値を入力するコマンドを作成しました。
VALCOMBO	指定した変数にコンボボックスにより値を入力するコマンドを作成しました。
VALEDIT	CSVファイルで設定した複数の変数にリスト形式にて値を入力するコマンドを作成しました。

**N I G M A S X V e r 5 . 0**マイナーバージョンアップでリリースした**N I G M A S**コマンド  
(弊社ホームページで公開済み)

コマンド名	説明
ANNEDGLOBJ	注記をアウトライン化するコマンドを作成しました。
DELPOSA	注記(A, GA)文字列から指定した文字列を消去するコマンドを作成しました。
DELWAKUA	注記文字列の枠が図郭枠外に存在する場合に消去するコマンドを作成しました。
DEMMODE	数値地図標高メッシュの読み込みモードを設定するコマンドを作成しました。
ELATRCONC	指示した図形のELを別図形のATRの指定位置に格納するコマンドを作成しました。
ELATRCONCA	指示した図形のELを指定領域内図形のATRの指定位置に格納するコマンドを作成しました。
KEYCOLOR	キーワードの表示色を変更するコマンドを作成しました。
MESHPOLZ	指定した範囲内に指定したZ値のポリゴンを格子状に発生するコマンドを作成しました。

**N I G M A S X V e r 5 . 0**で追加した**N I G M A S**コマンド

コマンド名	説明
3DMAKEPOL	シンボルを中心に多角形ポリゴンを発生するコマンドを作成しました。
ANNSIZE	指示した注記・グループ注記の文字幅・文字高・文字間隔を変数に格納するコマンドを作成しました。
ARMAD	検索有効レイヤの注記(A)のラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMC	カレントレイヤの円のラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMCD	検索有効レイヤの円のラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMGAD	検索有効レイヤのグループ注記のラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMGD	検索有効レイヤのグループ図形(GA,GS)のラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMGSD	検索有効レイヤのグループシンボルのラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMLD	検索有効レイヤのラインのラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMPD	検索有効レイヤのポリゴンのラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMSAMEL	ライン・ポリゴンを対象に1グループ内で重複する線分が存在した場合にラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ARMSD	検索有効レイヤのシンボルのラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ASTRLENCHK	注記(A,GA)の文字数を検査するコマンドを作成しました。
ATRARMPOS1	既存コマンドATRARMPOSでラインタイプが変更されない図形のラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ATRCNVPOS1	既存コマンドATRCNVPOSでレイヤが変更されない図形のレイヤを変更するコマンドを作成しました。
ATRCPYLTOS	ラインにOPしているシンボルにラインのATRの指定位置をコピーするコマンドを作成しました。
ATRCPYPOS	指示した図形のATRの指定位置を別の図形の指定位置にコピーするコマンドを作成しました。
ATRCPYSTOL	ラインにOPしているシンボルのATRの指定位置をラインにコピーするコマンドを作成しました。
ATRGANNL	ATRの指定位置をグループ注記の文字列として発生するコマンドを作成しました。
ATRGETMN	面・ポリゴンの面内を指示しATRの指定位置を変数に格納するコマンドを作成しました。
ATRLAYCNV	ATRの指定位置の値でレイヤを変更するコマンドを作成しました。
ATRLTYPCNV	ATRの指定位置の値でラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ATRNULL	ATRの指定位置がNULLの場合にマーク発生するコマンドを作成しました。
ATRPCUTAONL	ライン上の注記(A,GA)文字列をラインのATRにコピーするコマンドを作成しました。
ATRPCUTAONLN2	ライン上の注記(A,GA)文字列をラインのATRの指定位置にコピーするコマンドを作成しました。
ATRPCUTM	面・ポリゴンの面内を指示してATRを付与するコマンドを作成しました。
BM4JTOT	BM4ファイルの座標(BL)を世界測地系から日本測地系に変換するコマンドを作成しました。
BM4JTOTXY	BM4ファイルの座標(XY)を世界測地系から日本測地系に変換するコマンドを作成しました。
BM4TTOJ	BM4ファイルの座標(BL)を日本測地系から世界測地系に変換するコマンドを作成しました。

BM4TTOJXY	BM4ファイルの座標(XY)を日本測地系から世界測地系に変換するコマンドを作成しました。
BMAJTOT	BMAファイルの座標(BL)を世界測地系から日本測地系に変換するコマンドを作成しました。
BMAJTOTXY	BMAファイルの座標(XY)を世界測地系から日本測地系に変換するコマンドを作成しました。
BMATTOJ	BMAファイルの座標(BL)を日本測地系から世界測地系に変換するコマンドを作成しました。
BMATTOJXY	BMAファイルの座標(XY)を日本測地系から世界測地系に変換するコマンドを作成しました。
BMFLOAT	MAKEBMA,MAKEBM4で出力する際の座標桁数を設定するコマンドを作成しました。
BUNKMOVA	トレンス内に存在するカントDRAWのラインに対して点を追加し移動するコマンドを作成しました。
BUNKMOVAA	トレンス内に存在する全DRAWのラインに対して点を追加し移動するコマンドを作成しました。
CCROS	ラインの指定位置を中心に指定距離に交点を追加するコマンドを作成しました。
CHCOURM	既存コマンドCHCOURの面指示版を作成しました。
CHGTABM	既存コマンドCHGTABの面指示版を作成しました。
CHKASTR	注記(A,GA)文字列がテーブルで指定したパターンに当てはまらない図形にマークを作成するコマンドを作成しました。
CHKASTR1	注記(A,GA)文字列がテーブルで指定したパターンに当てはまる図形にマークを作成するコマンドを作成しました。
CIRADDS	標準オブジェクトテーブルに指定されたシンボル・グループシンボルを中心として同心円をライン又はポリゴン発生するコマンドを作成しました。
CIRADDS1	指示した座標を中心として同心円をライン又はポリゴン発生するコマンドを作成しました。
CIRPOL	円を指示してポリゴンに変換するコマンドを作成しました。
CIRPOLL	レイヤ指定で円をポリゴンに変換するコマンドを作成しました。
CLIPBOARDSET	指定した矩形内のイメージをクリップボードに格納するコマンドを作成しました。
COLORFOBJ	図形の表示色をテーブルから取得するか図形から取得するかを設定するコマンドを作成しました。
COLOROBJ	図形の表示色を付与するコマンドを作成しました。
CPMAX	既存コマンドCPで登録したCPの最大番号を変数に格納するコマンドを作成しました。
CPY2	既存コマンドCPYの類似コマンドとして、指示図形のDRAW・レイヤにコピーするコマンドを作成しました。
CPYCON2	既存コマンドCPYCONの類似コマンドとして、指示図形のDRAW・レイヤにコピーするコマンドを作成しました。
CRTTOBMP	NIGMASの編集画面をBMPに保存するコマンドを作成しました。
CRTTOBMP2	NIGMASの編集画面を2点指示でBMPに保存するコマンドを作成しました。
CRTTOBMP3	NIGMASの編集画面を3点指示でBMPに保存するコマンドを作成しました。
CSVREAD	座標や文字列が格納されたCSVファイルから注記・シンボル・グループ注記・グループシンボルのいずれかの図形を発生させるコマンドを作成しました。
CUR_BDRAW	カントのBDRAWを変数に格納するコマンドを作成しました。
CUR_IMODE	カントの入力モードを変数に格納するコマンドを作成しました。
CUR_SUBLAY	カントサブレイヤを変数に格納するコマンドを作成しました。
CUR_SUBLIN	カントサブラインタイプを変数に格納するコマンドを作成しました。
CUR_Z	カントZ値を変数に格納するコマンドを作成しました。
CURMOVA	既存コマンドCURMOVの注記枠内指示版のコマンドを作成しました。
DELPONS	ポリゴンにOPしているシンボルを消去するコマンドを作成しました。
DELPONS1	ポリゴンにOPしていないシンボルを消去するコマンドを作成しました。
DELTRIP1	4点(3角形)で構成されていないポリゴンを消去するコマンドを作成しました。
DELWAKUL	図郭上のラインを消去するコマンドを作成しました。
FIGTOATR	既存コマンドOBJTOTXTの類似コマンドとして標準オブジェクトテーブルに定義されている図形の各種情報をATRに格納するコマンドを作成しました。
GANNCHK	既存コマンドANNCHKの類似コマンドとしてグループ注記を検査するコマンドを作成しました。
HIDEDASH	ラインタイプ毎に破線スタイル(図上MM指定)を定義したテーブルを指定ラインに対して指定ピッチで線分を分割するコマンドを作成しました。(破線の陰線部には陰線フラグが立ちます)
HOLSCH	シンボルと重なるラインを円状のシンボル枠で陰線処理(陰線フラグ)するコマンドを作成しました。
HOLSH	シンボルと重なるラインをシンボル枠で陰線処理(陰線フラグ)するコマンドを作成しました。
IMGREADPOS1	画像のピクセル数・解像度・スケールから原寸サイズを計算し表示するコマンドを作成しました。

KEYGATOP	既存コマンドKEYATOPの類似コマンドとしてポリゴンに内包されているグループ注記のキーコードをポリゴンに付与するコマンドを作成しました。
KMLWRITEA	標準オブジェクトテーブルに指定された注記・グループ注記をKML保存するコマンドを作成しました。
KMLWRITELP	標準オブジェクトテーブルに指定されたライン・ポリゴンをKML保存するコマンドを作成しました。
LINCOLZ	標準オブジェクトテーブルに指定したラインのZ値別にポイント色を設定するコマンドを作成しました。
LINKDZ	カレントDRAW内のラインを対象にZ値が一致する端点を一括でリンクするコマンドを作成しました。
LINKSPDISTZ1	同一Z値のラインの端点同士を指定距離で連結するコマンドを作成しました。
MIFCREATE	弧・面取り長方形オブジェクトの面取り部分・楕円の形状を変更するコマンドを作成しました。
MIFMODLISTC	CSVファイル形式の描画情報をもとに円のラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
MIFMODLISTL	CSVファイル形式の描画情報をもとにラインのラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
MIFMODLISTP	CSVファイル形式の描画情報をもとにポリゴンのラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
MIFMODLISTS	CSVファイル形式の描画情報をもとにグループシボルのラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
MIFREAD	MIFファイルを読み込むコマンドを作成しました。(弧・面取り長方形オブジェクトの面取り部分・楕円対応版)
MIFREAD1	MIFファイルを読み込むコマンドを作成しました。(弧・面取り長方形オブジェクトの面取り部分・楕円非対応版)
MIFVLISTC	円の図形属性に格納されている描画情報をCSVファイルにエクスポートするコマンドを作成しました。
MIFVLISTL	ラインの図形属性に格納されている描画情報をCSVファイルにエクスポートするコマンドを作成しました。
MIFVLISTP	ポリゴンの図形属性に格納されている描画情報をCSVファイルにエクスポートするコマンドを作成しました。
MIFVLISTS	グループシボルの図形属性に格納されている描画情報をCSVファイルにエクスポートするコマンドを作成しました。
NBFAPPENDF	指定したフォルダの中にあるNBFを1つのNBFファイルにアペンドするコマンドを作成しました。
OBJTMP	標準オブジェクトテーブルに定義された図形の間接ファイルを作成するコマンドを作成しました。
POLCOLZ	標準オブジェクトテーブルに指定したポリゴンのZ値別にポイント色を設定するコマンドを作成しました。
POLCOLZG	標準オブジェクトテーブルに指定したポリゴンのZ値別にグループ色を設定するコマンドを作成しました。
RHDFLOAT	RHDファイル作成時に格納される座標の小数部桁数を設定するコマンドを作成しました。
RPAPER	既存コマンドRREADで読み込まれているNCGラスターデータから白紙ビットマップを作成するコマンドを作成しました。
RPAPERSCI	SCIファイルから白紙ビットマップを作成するコマンドを作成しました。
SHPATRCHK	オブジェクトテーブルで指定した図形が指定したDBF定義テーブルの定義内容にあっているかどうかを検査するコマンドを作成しました。
SHPGRPDUBCHG	図形要素ごとにグループ番号同一でATR不一致の図形に対してグループ番号を振り直すコマンドを作成しました。
SYMSIZE	指示したシボル・グループシボルの大きさを変数に格納するコマンドを作成しました。
VORONOI	標準オブジェクトテーブルに指定された注記・シボル・グループ注記・グループシボルからボロノイ図をポリゴン発生するコマンドを作成しました。
WAKU4	既存コマンドRECTAN4で設定した図郭枠にラインを発生するコマンドを作成しました。

**N I G M A S X Ver 4. 0**マイナーバージョンアップでリリースした**N I G M A S**コマンド  
(弊社ホームページで公開済み)

コマンド名	説明
AUTOMOVOP	指定図形を対象に、指定距離範囲内に複数の点があるとき、いずれかの1つの点へ該当する点を自動で移動(OP)させるコマンドを作成しました。
DMHDCNV	カレントDRAWの図郭レポート情報をDM仕様または拡張DM仕様に変換するコマンドを作成しました。
GANNH1	グループ注記の角度を一括でカレント角度に変更するコマンドを新規に作成しました。
GSYMH	グループシボルの角度を一括で水平(0度)に変更するコマンドを新規に作成しました。
GSYMH1	グループシボルの角度を一括でカレント角度に変更するコマンドを新規に作成しました。
SETAD	指定したDRAWへの図形入力を禁止するコマンドを新規に作成しました。

N I G M A S X V e r 4 . 0 で追加したN I G M A S コマンド

コマンド名	説明
ANGCHKRANGE	範囲指定にてシボル・グループシボル・注記・グループ注記の角度検査を行うコマンドを作成しました。
ATRDISP	ATRの表示フラグを設定するコマンドを作成しました。
ATRDISPMODE	ATRDISPで表示するATRのモード(すべてを表示/指定フィールドを表示/指定カムを表示)を設定するコマンドを作成しました。
ATRDISPCSV	ATRDISP ONでのATR表示について、ATRDISPMODE で“2”(指定CSV番号)を選択しているときに表示するATRのフィールド番号を指定するコマンドを作成しました。
ATRDISPCLM	ATRDISP ONでのATR表示について、ATRDISPMODE で“3”(指定カム)を選択しているときに表示するATRのカムを指定するコマンドを作成しました。
ATRPUTAINP2	ポリゴンに内包する注記・グループ注記の文字列を、ポリゴンのATRに格納するコマンドを作成しました。
ATRPUTINP	ポリゴンのATRを内包する図形に付与するコマンドを作成しました。
ATRPUTMATH	ATRの四則演算を行い、計算結果をATRに格納するコマンドを作成しました。
ATRPUTPIN	ポリゴンに内包する図形のATRを、ポリゴンに付与するコマンドを作成しました。
COMPATH	コマプロファイルを変更するコマンドを作成しました。
CROSMARKO2	標準オブジェクトテーブルを2つ指定し、2つのテーブル間で交点検査をするコマンドを作成しました。
CUR_RNAM	カレントDRAWの図面名を変数に取得するコマンドを作成しました。
DATCNVEL	指定したELの図形を別レイヤへコンバートするコマンドを作成しました。
DELELA1	指定EL以外の注記を消去するコマンドを作成しました。
DELELG1	指定EL以外のグループ図形を消去するコマンドを作成しました。
DELELS1	指定EL以外のシボルを消去するコマンドを作成しました。
ELECNVA	指定した領域内の図形を別レイヤへ移動するコマンドを作成しました。
DMIAPPEND	既存コマンド IDXAPPENDの拡張DM版コマンドを作成しました。
DMICREATE	既存コマンド IDXCLEARの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMATRCHK	拡張DMの検査コマンドとして、ATRの内容(地域分類/情報分類/作成日時/更新日時/削除日時)を検査するコマンドを作成しました。
EXDMGETDWGI	既存コマンド DMGETDWGIの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMHCLR	既存コマンド DMHCLRの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMHEADER	既存コマンド DMHEADERの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMHREADEX	既存コマンド DMHREADEXの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMHRINS	既存コマンド DMHRINSの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMLOG	既存コマンド DMEXLOGの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMMRK	既存コマンド DMEXMRKの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMTOBMA	既存コマンド DMTOBMAの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXDMWRITE	既存コマンド DMWRITEEXの拡張DM版コマンドを作成しました。
EXTBM4	4点ベースマップ定義テーブル(BM4)の内容でデータを分割し、メッシュ毎にNIF2・NIF2-PLUS・NIF2+ファイルとして保存するコマンドを作成しました。
EXTBM44	4点ベースマップ定義テーブル(BM4)の内容でデータを分割し、メッシュ毎にNIF4ファイルとして保存するコマンドを作成しました。
EXTBM4N	4点ベースマップ定義テーブル(BM4)の内容でデータを分割し、メッシュ毎にNBFファイルとして保存するコマンドを作成しました。
EXTBMA4	ベースマップ定義テーブル(BMA)の内容でデータを分割し、メッシュ毎にNIF4ファイルとして保存するコマンドを作成しました。
EXTBMAN	ベースマップ定義テーブル(BMA)の内容でデータを分割し、メッシュ毎にNBFファイルとして保存するコマンドを作成しました。
FLOATZ	全図形のZ座標値を指定した桁で丸めるコマンドを作成しました。
GSYMCHKOBJ	標準オブジェクトテーブルに定義したグループシボルの目視検査・修正を行うコマンドを作成しました。
GTOSOBJ	標準オブジェクトテーブルに定義したグループシボルを通常シボルに変更するコマンドを作成しました。
INPUTLSTYLEG	ラインの破線からグループ線分単位でショートベクトルを作成するコマンドを作成しました。
MACBB	BMAメッシュ指示で、ディスクから読み込んでいる画像を消去するコマンドを作成しました。
MACBB4	BM4メッシュ指示で、ディスクから読み込んでいる画像を消去するコマンドを作成しました。

MARKPUT	マークを登録するコマンドを作成しました。
MOVEL	同一ELの図形をグループ移動するコマンドを作成しました。
MT_LINDEG	指定した2点の座標から角度を計算し変数に取得するコマンドを作成しました。
PNIGSET	システムに設定されている表示テーブルを、PLOT-NIGMAS形式の表示テーブルに変換し、システムに設定するコマンドを作成しました。
POLCUTL	テーブルで指定したポリゴンをラインで分割するコマンドを作成しました。
POLTOBM4	ポリゴンから4点ベースマップ定義テーブル(BM4)を作成するコマンドを作成しました。
POLTOBMA	ポリゴンからベースマップ定義テーブル(BMA)を作成するコマンドを作成しました。
SCALEBAR	スケールバーを表示するコマンドを作成しました。
TFWTORHD2	TFWからRHDを作成するコマンドを作成しました。 (類似コマンドTFWTORHD より、1ドット分の長さを引いた座標となります。)

**N I G M A S X Ver 3. 0マイナーバージョンアップでリリースしたN I G M A Sコマンド  
(弊社ホームページで公開済み)**

コマンド名	説明
ASTRTOATR	注記文字列をATRに格納するコマンドを作成しました。
ATRTP1OBJ	標準オブジェクトテーブルの図形を対象に、ATRに指定文字列を持つ図形以外を中間ファイルに格納するコマンドを作成しました。
ATRTPOBJ	標準オブジェクトテーブルの図形を対象に、ATRに指定文字列を持つ図形を中間ファイルに格納するコマンドを作成しました。
ATRTOANG	注記・シボル・グループ 図形の指定ATRフィールドの値を角度とし、図形の傾きを変更するコマンドを作成しました。
BUNKOPLLOBJ	ライン・ポリゴンにOPLLしている図形の点を参照し、ライン・ポリゴンに点を追加するコマンドを作成しました。
CONTSYMCHK1	シボル・グループシボルのZ値が隣接する等高線と比較して、論理的に間違っている箇所を検査するコマンドを作成しました。
DCNVOBJ	標準オブジェクトテーブルの図形を対象に、その図形を完全に包含するDRAWへ変更するコマンドを作成しました。
ELADD	ELの末尾に指定文字列を追加するコマンドを作成しました。
ELINSERT	指定文字列をELの指定文字数の直前に挿入するコマンドを作成しました。
ELPUTREN	ELに指定桁数で連番を付与するコマンドを作成しました。
FULLMODE	カレント図面表示モードを設定するコマンドを作成しました。
GTOK	グループ番号をキーワードにコピーするコマンドを作成しました。
JUNCGMODE	JUNCG設定時のデジタイズ点クロス表示の表示サイズの設定するコマンドを作成しました。
JUNCGWM	測地m単位でデジタイズ点クロス表示の表示サイズを設定するコマンドを作成しました。
JUNCGWMM	図上mm単位でデジタイズ点クロス表示の表示サイズを設定するコマンドを作成しました。
LTOAATRMA	ラインのATRを注記として、ラインの中間位置の線分の傾きで発生するコマンドを作成しました。
LTOGAATRMA	ラインのATRをグループ注記として、ラインの中間位置の線分の傾きで発生するコマンドを作成しました。
NBFWRITEOVR	カレントDRAWのベクタデータを、既存ファイル名でNBF形式に上書き保存するコマンドを作成しました。
ZCODECHK	1グループ内にZ値の有無が混在している図形を検査するコマンドを作成しました。

N I G M A S X V e r 3 . 0 で追加したN I G M A S コマンド

コマンド名	説明
BLXYNBFS	NBFファイルの全図形を日本測地系BLから日本測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
BLXYWNBFS	NBFファイルの図郭情報を日本測地系BLから日本測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
CHCOUROBJ	標準オブジェクトテーブルで指定した面・ポリゴンの入力方向を一括で変更するコマンドを作成しました。
DATACOUNTG	レイとラインタイプ の組み合わせで図形のグループ を集計し、CSVファイルに出力するコマンドを作成しました。
DATACOUNTP	レイとラインタイプ の組み合わせで図形の座標点を集計し、CSVファイルに出力するコマンドを作成しました。
DATALIST	1グループ 毎の図形情報をCSV形式でファイルに出力するコマンドを作成しました。
DM25READXML_AD	数値地図2500(空間データ基盤)(XML)の行政界・行政区域データをNBFファイルに変換するコマンドを作成しました。
DM25READXML_BL	数値地図2500(空間データ基盤)(XML)の街区界・街区区域データをNBFファイルに変換するコマンドを作成しました。
DM25READXML_PB	数値地図2500(空間データ基盤)(XML)の公共建物界・公共建物区域データをNBFファイルに変換するコマンドを作成しました。
DM25READXML_PL	数値地図2500(空間データ基盤)(XML)の場境界・場地区域データをNBFファイルに変換するコマンドを作成しました。
DM25READXML_RA	数値地図2500(空間データ基盤)(XML)の鉄道・駅データをNBFファイルに変換するコマンドを作成しました。
DM25READXML_RO	数値地図2500(空間データ基盤)(XML)の道路線・道路節点データをNBFファイルに変換するコマンドを作成しました。
DM25READXML_TP	数値地図2500(空間データ基盤)(XML)の三角点データをNBFファイルに変換するコマンドを作成しました。
DM25READXML_WA	数値地図2500(空間データ基盤)(XML)の水部界・水部区域データをNBFファイルに変換するコマンドを作成しました。
DOANGOBJ1	ライン・ポリゴンの線分の進行角度が鈍角で、前後2点間の長さが指定距離以下の場合、その点を消去するコマンドを作成しました。
ELGANNPC	ポリゴンのELを文字列として、ポリゴンの中心にグループ 注記を発生するコマンドを作成しました。
EXDMREAD	拡張DMファイルを読み込むコマンドを作成しました。
EXDMTBLLOG	拡張DMファイルを指定して、EXDM定義テーブルに定義されていない未定義分類コード・図形区分の図形を調査するコマンドを作成しました。
JGDBLXYNBFS	NBFファイルの全図形を世界測地系BLから世界測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
JGDBLXYWNBFS	NBFファイルの図郭情報を世界測地系BLから世界測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYNBFS	NBFファイルの全図形を世界測地系BLから日本測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYNBFS_XY	NBFファイルの全図形を世界測地系XYから日本測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYRHDS	世界測地系BLのRHDファイルの測地座標を日本測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYRHDS_XY	世界測地系XYのRHDファイルの測地座標を日本測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYRS	NCGラスタを世界測地系BLから日本測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYRS_XY	NCGラスタを世界測地系XYから日本測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYWNBFS	NBFファイルの図郭情報を世界測地系BLから日本測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYWNBFS_XY	NBFファイルの図郭情報を世界測地系XYから日本測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
JGDXYBLNBFS	NBFファイルの全図形を世界測地系XYから世界測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
JGDXYBLWNBFS	NBFファイルの図郭情報を世界測地系XYから世界測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
JUNCBW	JUNCA、JUNCBの矢印の表示サイズを変更するコマンドを作成しました。
JUNCPW	JUNCPの矢印の表示サイズを変更するコマンドを作成しました。
MODWHP	指示したグループ 注記の幅・高さ・間隔を指定した値に変更するコマンドを作成しました。
NBFREADRNG	指定したNBFファイル内で図形の最小・最大座標がカレントDRAWの図郭座標内にかかる図形をカレントDRAWに読み込むコマンドを作成しました。
P21WRITE	カレントDRAWのベクタデータをPart21ファイルに保存するコマンドを作成しました。
RHDTOTFW	ラスタハッタ 定義テーブル(RHD)をワールドファイル(TFW)に変換するコマンドを作成しました。
SEDREAD	SEDファイルを読み込むコマンドを作成しました。
SFCWRITE	カレントDRAWのベクタデータをSFCファイルに保存するコマンドを作成しました。

SHIFTPLTP	指定したラインタイプ の点にポリゴンの始点を変更するコマンドを作成しました。
SHIFTPLTP1	指定したラインタイプ 以外の点にポリゴンの始点を変更するコマンドを作成しました。
TFWTORHD	ワールドファイル(TFW)をラスター定義テーブル(RHD)に変換するコマンドを作成しました。
TKYJGDNBFS	NBFファイルの全図形を日本測地系BLから世界測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
TKYJGDNBFS_XY	NBFファイルの全図形を日本測地系XYから世界測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
TKYJGDRHDS	日本測地系BLのRHDファイルの測地座標を世界測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
TKYJGDRHDS_XY	日本測地系XYのRHDファイルの測地座標を世界測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
TKYJGDRS	NCGラスカを日本測地系BLから世界測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
TKYJGDRS_XY	NCGラスカを日本測地系XYから世界測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
TKYJGDWNBFS	NBFファイルの図郭情報を日本測地系BLから世界測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
TKYJGDWNBFS_XY	NBFファイルの図郭情報を日本測地系XYから世界測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
XYBLNBFS	NBFファイルの全図形を日本測地系XYから日本測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
XYBLWNBFS	NBFファイルの図郭情報を日本測地系XYから日本測地系BLに変換するコマンドを作成しました。

**N I G M A S X V e r 2 . 0**マイナーバージョンアップでリリースした**N I G M A S**コマンド  
(弊社ホームページで公開済み)

コマンド名	説明
ATREDFT1	指示した図形のATRを表示・編集するコマンドを作成しました。(単票形式・フィールド名指定)
ATREDT1	指示した図形のATRを表示・編集するコマンドを作成しました。(リスト形式・フィールド名指定)
BMPTOBT1	Windows標準ビットマップ (BMP) を対象に、RHDを参照してNCGビットマップ (BIT) を作成するコマンドを作成しました。
BREADS	複数のBMPを選択して、一括で読み込むコマンドを作成しました。
CUR_TMPEX	中間ファイル内のカレントレポート の情報 (サブレイヤ・サブラインタイプ) を変数に格納するコマンドを作成しました。
DELB4M4	指示したBM4メッシュに相当するNIF2データを消去するコマンドを作成しました。
DELB4M44	指示したBM4メッシュに相当するNIF4データを消去するコマンドを作成しました。
DELB4M4N	指示したBM4メッシュに相当するNBFデータを消去するコマンドを作成しました。
DELB4M4VX4	指示したBM4メッシュに相当するVX4データを消去するコマンドを作成しました。
DELB4M4VXY	指示したBM4メッシュに相当するVXYデータを消去するコマンドを作成しました。
DELBMA4	指示したBMAメッシュに相当するNIF4データを消去するコマンドを作成しました。
DELBMAN	指示したBMAメッシュに相当するNBFデータを消去するコマンドを作成しました。
DELBMAVX4	指示したBMAメッシュに相当するVX4データを消去するコマンドを作成しました。
DELBMAVXY	指示したBMAメッシュに相当するVXYデータを消去するコマンドを作成しました。
DELCROSSPOL	指示した2点を結ぶ線分に交差するポリゴンを消去するコマンドを作成しました。
ELCLROBJ	標準オブジェクトテーブルで指定した図形のELを消去するコマンドを作成しました。
GRIDWCOLOR	コマンド GRIDWで表示させたグリッド の表示色を変更するコマンドを作成しました。
GRPDUBCHK	グループ 番号の重複を検査するコマンドを作成しました。
MACOBJ1	標準オブジェクトテーブルで指定した以外の図形を消去するコマンドを作成しました。
MT_RANGE	変数に格納されている値 (数値型) が指定範囲内の値となっているかを検査し、結果を変数に返すコマンドを作成しました。
MT_STODMS	指定の座標 (秒) を度分秒に計算し、変数に格納するコマンドを作成しました。
NBFREADB	BMAメッシュを指示してNBFデータを読み込むコマンドを作成しました。
NBFREADB4	BM4メッシュを指示してNBFデータを読み込むコマンドを作成しました。
NBFWRITEB	BMAメッシュを指示してNBFデータを保存するコマンドを作成しました。
NBFWRITEB4	BM4メッシュを指示してNBFデータを保存するコマンドを作成しました。
NBFWRITED	ベクタデータをDRAW毎にNBF保存をするコマンドを作成しました。
PHTOGC	陰線 (陰線フラグ ON) で関連づけられているNIGMAS仕様の中抜きポリゴンをシェーブ 仕様の中抜きポリゴンに一括変更するコマンドを作成しました。

PHTOGC1	指示した、陰線（陰線フラグON）で関連づけされているNIGMAS仕様の中抜きボリゴンをシェーブ仕様の中抜きボリゴンに変更するコマンドを作成しました。
PHTOGL	陰線（陰線のラインタイプ）で関連づけされているNIGMAS仕様の中抜きボリゴンをシェーブ仕様の中抜きボリゴンに一括変更するコマンドを作成しました。
PHTOGL1	指示した、陰線（陰線のラインタイプ）で関連づけされているNIGMAS仕様の中抜きボリゴンをシェーブ仕様の中抜きボリゴンに変更するコマンドを作成しました。
PROPP	指示した点の情報を表示・変更するコマンドを作成しました。
READ4B	BMAメッシュを指示してNIF4データを読み込むコマンドを作成しました。
RECTAN4	パラメータ指定で4点図郭枠を設定するコマンドを作成しました。
SAD1	指定ラインタイプ以外の図形を消去するコマンドを作成しました。
SED1	指定ラインタイプ以外の図形を表示するコマンドを作成しました。
SHPPOLINS1	指示した、シェーブ仕様の中抜きボリゴンをNIGMAS仕様の中抜きボリゴンに変更するコマンドを作成しました。
TAGMARK	指定範囲内のTAG値を持つ図形を検査するコマンドを作成しました。
TAGMARK1	指定範囲外のTAG値を持つ図形を検査するコマンドを作成しました。
TAGOBJ	標準オブジェクトテーブルで指定した図形のTAG値を、指定した値に変更するコマンドを作成しました。
VX4READB	BMAメッシュを指示してVX4データを読み込むコマンドを作成しました。
VX4WRITEB	BMAメッシュを指示してVX4データを保存するコマンドを作成しました。
VX4WRITEB4	BM4メッシュを指示してVX4データを保存するコマンドを作成しました。
VXYREADB4	BM4メッシュを指示してVXYデータを読み込むコマンドを作成しました。
VXYWRITEB4	BM4メッシュを指示してVXYデータを保存するコマンドを作成しました。
WORKGMARK	指定範囲内のグループレコードのWORK値を持つ図形を検査するコマンドを作成しました。
WORKGMARK1	指定範囲外のグループレコードのWORK値を持つ図形を検査するコマンドを作成しました。
WORKGOBJ	標準オブジェクトテーブルで指定した図形のグループレコードのWORK値を、指定した値に変更するコマンドを作成しました。
WORKOBJ	標準オブジェクトテーブルで指定した図形のグループレコードとボイントレコードのWORK値を、指定した値に変更するコマンドを作成しました。
WORKPMARK	指定範囲内のボイントレコードのWORK値を持つ図形を検査するコマンドを作成しました。
WORKPMARK1	指定範囲外のボイントレコードのWORK値を持つ図形を検査するコマンドを作成しました。
WORKPOBJ	標準オブジェクトテーブルで指定した図形のボイントレコードのWORK値を、指定した値に変更するコマンドを作成しました。
WRITE4B	BMAメッシュを指示してNIF4データを保存するコマンドを作成しました。
WRITE4B4	BM4メッシュを指示してNIF4データを保存するコマンドを作成しました。
WRITEB4	BM4メッシュを指示してNIF2データを保存するコマンドを作成しました。

N I G M A S X V e r 2 . 0 で追加したN I G M A S コマンド

コマンド名	説明
ANNSTRMODE	注記文字入力の初期値を設定するコマンドを作成しました。
ATRCOLOR	ATRの表示色を変更するコマンドを作成しました。
BM4GETNAME	BM4上の指示したメッシュ名を変数に取得するコマンドを作成しました。
BMAGETNAME	BMA上の指示したメッシュ名を変数に取得するコマンドを作成しました。
CROSMARKG	オブジェクトテーブル1とオブジェクトテーブル2で指定した線分同士が交差点なしで交差している箇所を検査し、グループ毎にマークを作成するコマンドを作成しました。
CROSMARKO3	オブジェクトテーブル1とオブジェクトテーブル2で指定した線分同士が交差点なしで交差している箇所を検査し、交差部にマークを作成するコマンドを作成しました。
DUPMARKW	図形同士の重なりを検査するコマンドを作成しました。
GEOTIFREAD	カレントRDRAWにGEOTIFFを読み込むコマンドを作成しました。
GEOTIFWRITE	カレントRDRAWのデータをGEOTIFF(2値)に保存するコマンドを作成しました。
GRPCOLOR	グループ番号の表示色を変更するコマンドを作成しました。
JINKOL1	指定範囲内(補助線は不要)に人工斜面(大)を発生するコマンドを作成しました。
JINKOL2	指定範囲内(補助線は不要)に人工斜面(小)を発生するコマンドを作成しました。
MARKLIST	読み込まれているマークファイルの情報をリスト表示するコマンドを作成しました。
P21READ	SXFのPart21ファイルを読み込むコマンドを作成しました。
PANBM4	BM4内の指定した図面を全体表示するコマンドを作成しました。
PANBMA	BMA内の指定した図面を全体表示するコマンドを作成しました。
SFCREAD	SXFのSFCファイルを読み込むコマンドを作成しました。
SXFCNV	SXF仕様のデータをNIGMAS仕様のデータに変換するコマンドを作成しました。
SXFMODE	SXFデータの表示設定をするコマンドを作成しました。
SXFNBFREAD	SXF仕様のNBFデータを読み込むコマンドを作成しました。
SXFNBFWRITE	SXF仕様のNBFデータを保存するコマンドを作成しました。
SXFPATH	SXFワークデータを格納するフォルダを変更するコマンドを作成しました。

N I G M A S X V e r 1 . 5 マイナーバージョンアップでリリースしたN I G M A S コマンド  
(弊社ホームページで公開済み)

コマンド名	説明
ATRCLR	全図形のATRの値をクリア(消去)するコマンドを作成しました。
ATRCLR1	指示した図形のATRの値をクリア(消去)するコマンドを作成しました。
ATRCLR1N	指示した図形の指定ATRフィールドの値をクリア(消去)するコマンドを作成しました。
ATRCLROBJ	オブジェクトテーブル指定でATRをクリア(消去)するコマンドを作成しました。
ATRCON	指示した図形のATRの値をコピーするコマンドを作成しました。
ATRCONA	指示図形のATRを指定領域内の図形にコピーするコマンドを作成しました。
ATRCONN	指示した図形の指定ATRフィールドの値をコピーするコマンドを作成しました。
ATRGET	指示図形のATRを変数に取得するコマンドを作成しました。
ATRPUNCH	オブジェクトテーブルで指定した図形のATRをパンチ入力するコマンドを作成しました。
ATRPUNCH1	指示した図形のATRをパンチ入力するコマンドを作成しました。
ATRPUNTOBJ	オブジェクトテーブル指定で指定文字列を指定ATRフィールドに付与するコマンドを作成しました。
ATRSRCPOS	指定した文字列をATRに持つ図形を検索し、マークファイルを作成するコマンドを作成しました。
ATRSRCPOS1	指定した文字列以外をATRに持つ図形を検索し、マークファイルを作成するコマンドを作成しました。

ATRTEMP	指定した文字列をATRに持つ図形を検索し、中間ファイルに格納するコマンドを作成しました。
ATRTEMP1	指定した文字列以外をATRに持つ図形を検索し、中間ファイルに格納するコマンドを作成しました。
CIRCHGR	指示した円の半径を変更するコマンドを作成しました。
CIRCHGROBJ	オブジェクトテーブル指定で円の半径を変更するコマンドを作成しました。
CROSOBJ	オブジェクトテーブル指定で交点を作成するコマンドを作成しました。(テーブルに定義されている線分の交差箇所全てに交点を作成します)
CROSOBJ1	オブジェクトテーブル指定で交点を作成するコマンドを作成しました。(交点を作成する線分と参照する線分を分けてテーブルに指定することができ、参照用の線分には点を作成しません)
CROSOBJ2	オブジェクトテーブル指定で交点を作成するコマンドを作成しました。(2つのテーブルに定義されている線分同士の交差箇所に交点を作成します。同一テーブル内の線分同士の交差箇所には点を作成しません)
DIVANNOBJ	注記を1文字ずつ分割するコマンドを作成しました。
DIVGANNOBJ	グループ注記を1文字ずつ分割するコマンドを作成しました。
ELCHECK1	テーブルに定義したEL内容に一致しない図形を検査するコマンドを作成しました。
ELGET	指示した図形のEL情報 (EL座標・EL文字列) を変数に取得するコマンドを作成しました。
EMPTYDRAW	ベクタデータの存在しない最小のDRAW番号を取得するコマンドを作成しました。
ENDMARK	処理済みマークファイルをディスク上から消去するコマンドを作成しました。
FSPLIT	フルパスで変数に格納されているファイル名をドライブ・フォルダ・名前・拡張子に分割して変数に格納するコマンドを作成しました。
GANNDEFOBJ	グループ注記のサイズを表示テーブルのサイズに変更するコマンドを作成しました。
HTONOBJR	レイ・ラインタイプ・Z値指定で、図形のZ値を削除するコマンドを作成しました。
MACRB	BMAメッシュを指示して、ディスクから読み込んでいるラスターデータを消去するコマンドを作成しました。
MACRB4	BM4メッシュを指示して、ディスクから読み込んでいるラスターデータを消去するコマンドを作成しました。
MODL	指示した図形のラインタイプを指定ラインタイプに変更するコマンドを作成しました。
MRKCNTGET	マークファイル内の情報を変数に取得するコマンドを作成しました。
PEDAL1	指示したシンボルから指示したラインへ垂直線を発生するコマンドを作成しました。
PUTATRCRD	図形情報(XY座標)を図形のATRに格納するコマンドを作成しました。
PUTATRFIG	図形情報(レイ・ラインタイプ・ELなど)を図形のATRに格納するコマンドを作成しました。
RADIUSCHK	円の半径が指定範囲内のとき、マークファイルを作成するコマンドを作成しました。
RADIUSCHK1	円の半径が指定範囲外のとき、マークファイルを作成するコマンドを作成しました。
STRCPY	指定の文字列を、文字型として変数に取得するコマンドを作成しました。
STRSRCTMP	注記の文字列を指定して中間ファイルを作成するコマンドを作成しました。
TEXTAPP	テキストファイルの最後に任意文字列を追加するコマンドを作成しました。
TKYJGDBLMARK	ベクタデータ(BL座標)を測地成果2000座標に変換したとき、変換する図形が変換パラメータのカバー範囲内にあるかどうかを検査するコマンドを作成しました。
TKYJGDXYMARK	ベクタデータ(XY座標)を測地成果2000座標に変換したとき、変換する図形が変換パラメータのカバー範囲内にあるかどうかを検査するコマンドを作成しました。
TMPCNTGET	中間ファイル内の図形数情報を変数に取得するコマンドを作成しました。
UNDONUM	UNDOの回数を制御するコマンドを作成しました。
UNLINKOP1	標準オブジェクトテーブルで指定したラインを指示したラインと交差する箇所でアンリンクするコマンドを作成しました。
ZCPYLOBJ	異なるグループのラインの全点が同一座標の場合、一括でZ値をコピーするコマンドを作成しました。

N I G M A S X V e r 1 . 5 で追加したN I G M A S コマンド

コマンド名	説明
ATRARMPOS	指定したATRの文字列からラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
ATRARMPOST	指定ATRの文字列を元にラインタイプを変更するコマンドを作成しました。(テーブル指定)
ATRCNVPOS	指定したATRの文字列からレイヤを変更するコマンドを作成しました。
ATRCNVPOST	指定ATRの文字列を元にレイヤを変更するコマンドを作成しました。
C2READ	地籍フォーマット2000データの読み込みコマンドを作成しました。
C2WRITE	地籍フォーマット2000データの保存コマンドを作成しました。
DATTYP1LOG	レイヤ・ラインタイプ毎の要素数、点数をテキストファイルに出力するコマンドを作成しました。
DELAREAA	検索有効DRAWを対象とした指定領域内図形を消去するコマンドを作成しました。
DELDUPBMA	EXTBMAでメッシュ分割保存したデータに対して、隣接する図面の片側の辺上にある図形を消去するコマンドを作成しました。
DM25000READXML	数値地図25000(空間データ基盤)を読み込むコマンドを作成しました。
EXISTATRMODL	ラインの指定ATRに値が入っていたら、ラインのラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
FUKUINATRT	ラインの指定ATRの文字列を元にポリゴンを発生するコマンドを作成しました。
GTOAD1	表示位置は変えずにグループ注記を通常注記に変更するコマンドを作成しました。
INPUTLSTYLE	ラインの破線部分をラインに変換するコマンドを作成しました。
LTOAATRM	ラインの指定ATRの文字列を注記として発生するコマンドを作成しました。
LTOGAATR	ラインの指定ATRの文字列をグループ注記として発生するコマンドを作成しました。
MOVAREAA	検索有効DRAWを対象とした指定領域内図形を移動するコマンドを作成しました。
MOVINTOLA	検索有効DRAWを対象としたトランス内全点を一括移動するコマンドを作成しました。
MRKTOTXT	マークアップの情報をテキストファイルに出力するコマンドを作成しました。
SYMATRGANN	シンボルの指定ATRの文字列をグループ注記として発生するコマンドを作成しました。
SYMATRGANNL	シンボルの指定ATRの文字列をグループ注記として発生するコマンドを作成しました。(シンボルとグループ注記をリンクします)
VTRACESD	検索有効DRAWを対象にベクトル追跡をするコマンドを作成しました。

N I G M A S X V e r 1 . 0 マイナーバージョンアップでリリースしたN I G M A S コマンド  
(弊社ホームページで公開済み)

コマンド名	説明
DTBLMODE	DRAW単位で表示テーブルを割り当てるコマンドを作成しました。
MKARROWOBJ	ラインの始終点の矢印のラインを一括発生するコマンドを作成しました。
READALL3	NIF3データを一括で読み込むコマンドを追加しました。
RREVCNT	RDRAW上のラスターの白黒の比率を見て、白黒反転を自動で行うコマンドを作成しました。
SYSTABD	カレントDRAWの表示テーブルを設定するコマンドを作成しました。
UNDOCLR	UNDOの履歴をクリアするコマンドを作成しました。
WRITEALL3	NIF3データを一括で保存するコマンドを追加しました。
ZPUTD	オブジェクトテーブル指定でZ値を付与・変更するコマンドを作成しました。

N I G M A S X V e r 1 . 0 で追加したN I G M A S コマンド

コマンド名	説明
ATRDUBC	図形同士でATRの指定フィールドの重複検査するコマンドを作成しました。
ATRGETN	指示図形の指定ATRフィールドの値を変数に格納するコマンドを新規に追加しました。
ATRINFOINP	ポリゴンに内包される図形情報をATRに格納するコマンドを作成しました。
ATRENCHK	ATRの指定フィールドの文字数検査をするコマンドを作成しました。
ATRENCHK1	ATRの指定フィールドの桁数検査をするコマンドを作成しました。
ATRNULLT	ATRの指定フィールドのNULL検査するコマンドを作成しました。
ATRPUN	指示図形の指定ATRフィールドに指定文字列を格納するコマンドを新規に追加しました。
ATRTOMBEL	ELを検索キーにしてATRの内容をMDBに格納するコマンドを新規に追加しました。
BM4AFINV	BM4の図郭座標からBMPの4点補正を行うコマンドを作成しました。
BM4W	BM4メッシュ内の図面名の表示サイズを変更するコマンドを新規に作成してください。
BMAAFINV	BMAの図郭座標からBMPの4点補正を行うコマンドを作成しました。
BMAW	BMAメッシュ内の図面名の表示サイズを変更するコマンドを新規に作成してください。
CHGNRSSCALE	NCGラスターのスケールをダイレクトに変更するコマンドを新規に追加しました。
CHGTAB	ライン・ポリゴンテーブルを編集するコマンドを新規に追加しました。
CHGTABAS	注記・シンボルテーブルを編集するコマンドを作成しました。
CHGTABLAY	レイヤテーブルを編集するコマンドを作成しました。
CHKEDGE3	標準オブジェクトテーブル指定でOPLLの検査を行うコマンドを新規に追加しました。
CMDBTN	コマンドボタン定義テーブルを読み込ませるコマンドを新規に追加しました。
CMDBTNEDIT	コマンドボタン定義テーブルを編集・新規作成するコマンドを新規に追加しました。
CROSS1OBJT	一括で端点を交差するまで延長するコマンドを作成しました。
CROSA1	交差点からはみ出してしまったデータを交差点まで短縮するコマンドを新規に追加しました。
CROSHKA	注記文字の重なりを検査するコマンドを新規に追加しました。
CROSHKGAW	注記枠の重なりを検査するコマンドを新規に追加しました。
CRSAREATMP	指定したポリゴン同士の重複面積を変数に取得するコマンドを作成しました。
CUR_BMAPATH	BMAPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_BMPATH	BMPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_CMDTBLPATH	CMDTBLPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_COMPROPATH	COMPROPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_LOGPATH	LOGPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_MARKPATH	MARKPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_MDBPATH	MDBPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_RPATH	RPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_TABLEPATH	TABLEPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_VPATH	VPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
CUR_WORKPATH	WORKPATHを変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
DBMODE	使用するMDBの形式(Access97/2000)を選択するコマンドを新規に追加しました。
DELAREA1A	検索有効DRAWを対象として、範囲指定で図形を消去するコマンドを作成しました。
DELZNAME	カレントDRAWの図面名を消去するコマンドを作成しました。
DEMREAD	数値地図標高メッシュデータからシンボルを自動発生するコマンドを作成しました。
DISTANGET	指示した図形の距離を計測し、変数に格納するコマンドを作成しました。
DMEXMRK	DMEXテーブルを参照してレイヤ・ラインタイプ・サブラインタイプの検査するコマンドを新規に追加しました。
DMEXTBLLOG	DMファイル指定でDMEXテーブルの検査を行うコマンドを新規に追加しました。
DMGETDWGI	DMヘッダ情報を変数に取得するコマンドを作成しました。

DOANGSP	ポリゴンの鈍角点を消去するコマンドを作成しました。
ELCURPOSLM	ラインのEL表示座標を始終点の中間位置に移動するコマンドを新規に追加しました。
ELECNVLEN	指定距離以上のラインのレイヤを変更するコマンドを作成しました。
ELECNVLEN1	指定距離以下のラインのレイヤを変更するコマンドを作成しました。
ELTMPAOBJ	全DRAW対象に、指定ELの図形を中間ファイルに格納するコマンドを作成しました。
ELTMPAOBJ1	全DRAW対象に、指定EL以外の図形を中間ファイルに格納するコマンドを作成しました。
ELW	EL表示サイズを変更するコマンドを新規に追加しました。
EXISTDATA	図面名のないDRAWへ図面名をコピーするコマンドを新規に追加しました。
FLASHTMP	中間ファイル内の図形を、指定した色で点滅表示するコマンドを新規に追加しました。
GTOAOBJ1	グループ注記を注記に表示位置を変えずに変更するコマンドを作成しました。
HIKI1ON1	引き出し線で関連づけした注記とポリゴンの1対1検査するコマンドを新規に追加しました。
IME	注記入力時のみ全角入力にするコマンドを新規に追加しました。
INPOLKTMP1	指定ポリゴンのオフセット範囲内に内包されている図形を中間ファイルに格納するコマンドを新規に追加しました。
INPOLMENTMP	指定ポリゴンに完全内包されている図形を中間ファイルに格納するコマンドを新規に追加しました。
INPOLMENTMP1	指示したポリゴンに内包する図形の中間ファイルを作成するコマンドを作成しました。
JGDBLTOXY	世界測地系でのBL座標からXY座標を計算するコマンドを作成しました。
JGDBLXY	世界測地系BLを世界測地系XYへ変換するコマンドを新規作成しました。
JGDTKY_XY	NCGラスクを世界測地系XYから日本測地系XYに変換するコマンドを作成しました。
JGDTKYR	NCGラスクを世界測地系BLから日本測地系BLに変換するコマンドを作成しました。
JGDXYBL	世界測地系XYを世界測地系BLへ変換するコマンドを新規作成しました。
JGDXYTOBL	世界測地系でのXY座標からBL座標を計算するコマンドを作成しました。
KEYANNPC1	ポリゴンの中心位置にキーコード注記を発生するコマンドを新規に追加しました。
KEYMARK	検索有効レイヤを対象に指定キーコードの図形を検出するコマンドを作成しました。
LINKDT	一括リンク処理するコマンドを新規に追加しました。
LINKSPDIST1	ラインの間断部を自動連結するコマンドを新規に追加しました。
MACOBSLTP	図形種別・レイヤ・ラインタイプ・サブラインタイプ指定での図形一括削除するコマンドを作成しました。
MDBTOATR	ELを検索キーに、MDBの内容をATRに格納するコマンドを新規に追加しました。
MDBTOATR1	テーブル指定によってELを検索キーに、MDBの内容をATRに格納するコマンドを新規に追加しました。
MODRESULTG	カレントRESULT値を図形のグループのRESULTに付与するコマンドを作成しました。
MOVRMM	矩形範囲内の隣接をとるコマンド(既存コマンドMOVRMのイメージ)を新規に追加しました。
MOVRS	矩形範囲内の隣接をとるコマンド(既存コマンドMOVRSのイメージ)を新規に追加しました。
MOVWAKURB	図郭付近の端点を、図郭枠まで自動延長するコマンドを新規に追加しました。
MPARAW	ポリゴン・面を対象に幅指定の平行線を入力するコマンドを新規に追加しました。
MULTOBTJT	世界測地系BLのラスクを日本測地系BLに変換した状態でカレントRDRAWに貼り付けるコマンドを作成しました。
MULTOBTJT_XY	世界測地系XYのラスクを日本測地系XYに変換した状態でカレントRDRAWに貼り付けるコマンドを作成しました。
OBJCNVMDB	キーコードリンクしたMDBと図形のレイヤ・ラインタイプを変更するコマンドを作成しました。
OPLLCHKP1	ポリゴンの点他にポリゴンにOPLLしている箇所を検出するコマンドを作成しました。
PEDALOBJ	シンボルからラインへ向けての垂線を一括発生するコマンドを作成しました。
PNIGBMP	PLOT-NIGMAS出力イメージを画像出力するコマンドを作成しました。
PNIGDRV	NIGMAS上からドライブ依存の出力するコマンドを作成しました。
PNIGLDEG	折り返し点でのプロット表示の異常を修正するコマンドを作成しました。
POLAND	指示したポリゴンの重複箇所を残すコマンドを作成しました。
PSNREAD	面をハッチングイメージ表示させるコマンドを新規に追加しました。
PURGE1	重複図形を消去(EL有り図形を残し、ELなし図形を消去するコマンド)を新規に追加しました。

PURGEELD	DRAW間で重複している図形を削除するコマンドを作成しました。
RASNUM	ディスクより読み込んだラスター番号を変数に取得するコマンドを新規に追加しました。
ROTLP1	指示した図形を回転させるコマンドを作成しました。
TKYBLTOXY	日本測地系でのBL座標からXY座標を計算するコマンドを作成しました。
TKYXYTOBL	日本測地系でのXY座標からBL座標を計算するコマンドを作成しました。
TMPWIN	中間ファイル内の図形の最小最大座標をフル画面にするコマンドを作成しました。
VLINKL	ラインの端点同士を接合するコマンドを作成しました。
VTRACE1	別DRAWのベクタをトレースするコマンドを新規に追加しました。
VX4READ	VX4を読み込むコマンドを作成しました。
VX4WRITE	VX4を保存するコマンドを作成しました。
VXYREADALL	DRAW毎にVXYを読み込むコマンドを作成しました。
VXYREADB	BMA指示によるVXY読込コマンドを新規に追加しました。
VXYREADB4	BM4指示によるVXY読込コマンドを新規に追加しました。
VXYWRITEALL	DRAW毎にVXYを保存するコマンドを作成しました。
VXYWRITEB	BMA指示によるVXY保存コマンドを新規に追加しました。
WCOLOR	図郭枠イメージ線の色を変更するコマンドを作成しました。
WORKCENTER	ワークエリアの中心座標を変数に取得するコマンドを作成しました。
WRITEFD4	FD4を保存するコマンドを作成しました。
WRITELAY	LAYテーブルを保存するコマンドを作成しました。
WRITELF4	LF4テーブルを保存するコマンドを作成しました。
WRITESF4	SF4テーブルを保存するコマンドを作成しました。
ZGANNOBJ	標準オブジェクト指定でZ値を注記発生するコマンドを新規に追加しました。
ZTOATR	Z値を指定したATR番号に格納するコマンドを新規に追加しました。

#### NIGMASX Ver 1.0で追加したNCMコマンド

コマンド名	説明
ADSTOAD4	ADSをAD4に変換するコマンドを新規に追加しました。
EDSTOLAY	EDSをLAYに変換するコマンドを作成しました。
LAYTOEDS	LAYをEDSに変換するコマンドを作成しました。
LDSTOLD4	LDSをLD4に変換するコマンドを新規に追加しました。
LDSTOPD4	LDSをPD4に変換するコマンドを新規に追加しました。
LF5TOLF4	LF5をLF4に変換するコマンドを新規に追加しました。
LFTTOLF4	LFTをLF4に変換するコマンドを新規に追加しました。
MAKEPLT	PLTテーブルを一括作成するコマンドを作成しました。
PLOTPRNDRV	ポリゴンを透過するオプションフラグを追加しました。
SDSTOSD4	SDSをSD4 SD4に変換するコマンドを新規に追加しました。
SFTTOSF4	SFTをSF4に変換するコマンドを新規に追加しました。

N I G M A S X V e r 1 . 0 で削除したN I G M A S コマンド

コマンド名	説明
DMHSET	新規コマンドDMHEADER・DMHREADEXにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
DMHSETA	新規コマンドDMHEADER・DMHREADEXにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
DMHREAD	新規コマンドDMHEADER・DMHREADEXにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
DMHADDPICT	新規コマンドDMHEADER・DMHREADEXにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
DMHSETPICT	新規コマンドDMHEADER・DMHREADEXにて対応するため、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。
MARKPANM	既存のマークファイル関連コマンドにて対応しましたので、コマンドの使用は可能ですが本コマンドのサポートを終了します。

※N I G M A S 各バージョンのマイナーバージョンアップにて仕様変更やデバッグしたコマンドは、弊社ホームページでご確認ください。

## ユーザーサポート窓口

〒290-0056 千葉県市原市五井3926-1

(株)昭文社デジタルソリューション サポート課

電話 : 0436-23-1034

FAX : 0436-24-2118

E-Mail : support@mapple-sds.jp

受付時間 : 9:00~12:00

13:00~17:00

(土日・祝日・弊社指定休業日を除く)

### ● 弊社ホームページでは障害情報を公開しています ●

毎月中旬に更新されていますので定期的にご覧下さい。

URL <http://www.mapple-sds.jp>

● NIGMAS Xは(株)昭文社デジタルソリューションの製品です。

● 「NIGMAS2000」「NIGMASIV」「NIGMASIII」「NIGMASII」「PC-NIGMAS」「GEOSIS-OCX」「GEOSISX」は、(株)昭文社デジタルソリューションの製品です。

● 「NIF2」「NIF2-PLUS」「NIF2++」「NIF4」「NBF」は、「NIGMAS」の外部フォーマットです。

● 「VXY」「VX4」は、「GEOSIS-OCX」の外部フォーマットです。

● 本書に記載されております製品及び会社名等の固有名詞は、全て各社の登録商標、商標、商品名です。